



かけはし

Vol.
204

峡南教育事務所 News Letter

峡南地域教育推進連絡協議会は略して地推協（ちすいきょう）といます。峡南地域の教育機関・行政機関・地域住民等が連携し、教育課題や社会課題について協議



依田 智 会長

令和八年度 理事会・総会
六月一日（月）南巨摩合同庁舎
で理事会、七月三日（金）身延町
総合文化会館ホールで総会が行わ
れました。令和七年度の事業・決
算報告、令和八年度の新役員や事
業計画・予算等について慎重な審
議が行われ、承認されました。

令和八年度 峡南地域教育推進連絡協議会 （地推協） 第一回理事会・総会開催

・提言・実践活動を行う組織で
す。地域教育フォーラムや教育に
関する各種講演会、懇談会等を通
じ、望ましい教育環境と地域環境
づくりを推進し、地域全体で学び
を支える体制づくりを図る峡南地
域最大の教育協議会です。

令和8年度地推協正副会長 <敬称略>

- ◎会長 依田 智
（峡南地区教育委員会連合会 会長）
- 副会長 市川 隆
（峡南地区教育委員会連合会 副会長）
- 副会長 望月 正宏
（峡南地区教育委員会連合会 副会長）
- 副会長 小林 学
（峡南地区高等学校3校 校長代表）
- 副会長 市川 朝徳
（峡南PTA協議会 会長）

地推協の総会に続き、人権講演
会を行いました。本講演では、株
式会社リベラツイオーネ代表のト
ビオ氏が、自身の経験をもとに
LGBTQ+をはじめとする多様
性のあり方についてわかりやす
く語りました。セクシュアルマイ
ノリティの人々が抱える悩みや、
日常生活や学校・職場において直
面する困難について、具体的なエ
ピソードを交えながら説明がなさ
れ、参加者は実態への理解を深め
ました。また、「性はグラデーシ
ョンである」という視点が示さ

人権講演会

ありのままに生きることって素晴らしい
～私たちにできる環境づくり～



発行：峡南教育事務所

（南巨摩合同庁舎2階）

南巨摩郡富士川町鯉沢771-2

TEL:0556-22-8154

FAX:0556-22-8144

HPからもご覧に
なれます。QR→



目次：

R8年度 地推協
理事会・総会 1
人権講演会

ことぶき勸学院 2
だより

峡南地域砂防移動
教室 3
峡南地域防災リー
ダー養成講座

幼保小連携・接続
研修会 4
幼保小の架け橋プロ
グラム（参観授業）
大塚小



蝉の声に本格的な夏の
訪れを感じる頃となり
ました。暑さが続く毎
日ですが、どうぞ無理
をなさらず、体調に気
をつけて健やかにお過
ごしください。

峡南地域教育フォーラムのご案内

8月19日（水） 14：00～16：00

身延町総合文化会館 ホール

『部活動地域展開の展望』（仮題）

県教育庁保健体育課 指導主事 武藤 拓馬 氏
県総括コーディネーター 荻野 昭彦 氏

れ、多様性を認め合うことの重
要性が強調されました。さら
に、誰もが安心して自分らしく
生きるために、周囲ができる配
慮や関わり方について考える機
会となり、人権課題を身近なも
のとして捉え直すとともに、共
生社会の実現に向けた意識を高
める内容となりました。

ことぶき勸学院だより

◎先端技術（一年生）

五月八日（金）に山梨県甲州市在住の宇宙エンジニア・宮川広さんをお招きし、「私が宇宙で叶えた多くの夢」をテーマにお話をいただきました。

講演では、ご自身が掲げてこられた十五の夢と、それらを仕事や挑戦の中で着実に実現してこられた歩みについて、分かりやすくお話しただきました。夢を持ち続けること、そして困難に直面しても挑戦し続けることの大切さが、ご自身の体験に基づき丁寧に語られました。



さらに、近年の宇宙開発の動向にも言及され、月に水が存在する可能性や大規模な洞窟の発見により、人々の月面居住が現実味を帯びてきていること、多くの国が月面探査を

加速させている現状についても紹介いただきました。受講者にとりましては、宇宙という壮大なテーマを通じて、未来への視野を広げる貴重な機会となりました。

本講演は、学ぶことの意義を改めて実感するとともに、新たな夢を描く契機となる、とても有意義な時間でした。

宮川さんは、エコティーチャーとして各地で講演活動を展開されており、特に、子どもたちに夢や希望を伝える取組を積極的に行っています。

◎峡南地域学習（二年生）

五月十二日（火）には二年生を対象に峡南地域学習を実施しました。

峡南地域出身の片田駿三さんに加え、本地域へ移住された山本康憲さん（うどん笑里）、鈴木美也子さん（みろく整体院）を講師にお迎えし、それぞれの立場から貴重なお話をいただきました。山本さん、鈴木さんからは、移住に至るまでの経緯や地域での暮らし、どのような生き方をしていくのかといった率直なお話があり、受講者にとって生き方そのものを見つめ直す示唆に富む機会となりました。

また、片田さんからは、ことぶき勸学院での学びに触発され、地域活動に積極的に取り組んでこられたご経験が紹介されました。「山梨や郷土の良さを見直し、誇りを持って愛してほしい」との呼びかけとともに、「何かを始めるのに遅すぎることはない」という力強いメッセージが語られ、受講者の心に深く響きました。

本学習

は、地域への理解と愛着を一層深めるとともに、主体的に行動することの大切さを学ぶ、意義深い機会となりました。



◎地域貢献（一・二年生合同）

富士川クラフトパーク摘花作業

五月二十二日（金）に予定しておりました地域貢献活動は、降雨のため延期となり、五月二十九日（金）に実施いたしました。当日は三十度を超える厳しい暑さの中ではありませんでしたが、一・二年生あわせて三十二名が参加し、富士川クラフトパーク内のバラ園において摘花作業に取り組みました。はじめに、「山梨ガーデン」のスタッフの皆様から、摘花の方法や作業上

の留意点について丁寧な説明をいただいた後、班ごとに分かれて作業を行いました。参加者は、一枝一枝に心を込めながら丁寧に作業を進め、互いに声を掛け合い協力する姿が見られました。

当日は気温が高く、体調管理にも十分配慮が必要な環境ではありませんでしたが、適宜水分補給や休憩を取りながら、仲間同士で体調を気遣いながら作業に取り組むことができました。約一時間三十分の活動を通して、参加者が担当した区画は美しく整えられ、広大なバラ園の一角ではあります、確かな成果と手応えを感じることができました。

また、終了後にはご指導いただいたスタッフから、秋の開花に向けて良い準備ができたとの言葉をいただき、参加者にとって大きな励みとなりました。本活動は、地域に貢献する喜びを実感するとともに、互いに支え合いながら取り組むことの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。



峡南地域 砂防移動教室

上野小・身延小

土砂災害防止月間の取組

国土交通省が定める「土砂災害防止月間」である六月、小学校高学年を対象とした砂防移動教室が五日に上野小学校、十一日に身延小学校で実施され、児童が土砂災害について学びました。

当日は、峡南建設事務所の職員が学校を訪問し、土砂災害の種類や発生の仕組みについて、やさしく丁寧に説明してくださいました。授業では、映像資料で実際の災害の様子を学ぶとともに、模型実験によって土石流の発生の様子を再現するなど、児童が実感をもって理解できるよう工夫されていました。こうした模型や映像を活用した体験的な学びは、砂防移動教室ならではの特色ある取組です。



上野小学校



身延小学校

また、土砂災害から地域を守るために行われている治水・砂防対策についても紹介されました。特に、「流域治水」の考え方として、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策」「被害対象を減らすための対策」「被害の軽減や早期復旧・復興につなげるための対策」という三つの取組が示され、流域全体で災害に備えることの大切さが伝えられました。児童は、こうした取組により地域の安全が支えられていることに気づき、理解を深めていました。

今回の砂防移動教室を通して、児童は土砂災害についての理解を深めるとともに、いざというときに自分の命を守る行動の大切さについて学びました。こうした学びが、子どもたち一人一人の防災意識の向上につながるとともに、家庭や地域へと広がっていくことが期待されます。

峡南地域防災リーダー養成講座

峡南地域県民センターでは、七月二日に身延町総合文化会館、七月五日に南巨摩合同庁舎の二会場で、「峡南地域防災リーダー養成講座」を開催しました。各会場には多くの参加者が集まり、防災への関心の高さとともに、日頃から備えようとする意識の広がりを感じられる機会となりました。

講義①「大雨による災害と避難行動」では、避難を支援する防災気象情報をテーマに、気象災害の特徴や防災気象情報の正しい理解、適切な活用方法について学び、防災意識の向上を図りました。

講義②「女性の視点から見る防災」では、実際の避難所運営における事例が紹介され、多様な立場への配慮の重要性について理解を深めました。また、固定的な性別役割分担意識による負担の偏りを防ぐため、日頃から男女共同参画の視点を共有することの大切さが語られ、誰もが安心して過ごせる避難環境づくりについて学びました。

さらに、講義③「ライフライン（電気）と災害への備え」では、停電が生活に及ぼす影響や平時からの備えについて具体的な説明があり、家庭や地域で実践できる防災対策への理解を深めるとともに、備えの重要性を再認識する機会となりました。

講義④「自助・共助について」及び「避難所運営について」では、被災地支援の経験が豊富な講師から、被災地の実情や避難所運営の課題について具体的な事例を交えながら説明がありました。その中で、平時からの備えや防災に関する学びの重要性、また十分な備えがない状況で被災者自身が支援活動を行うことの難しさが強調されました。防災リーダーとして、まずは自らの家庭や地域において実践的な備えを進めることの大切さが共有される貴重な機会となりました。

本講座を通じて、受講者一人一人が地域防災の担い手としての自覚を高めるとともに、安全・安心な地域社会の実現に向けて主体的に取り組もうとする意識の醸成が図られました。今後は、受講者が地域における防災活動の中心的な役割を担い、その学びを地域全体へと広げていくことが期待されます。



令和8年度 第2回幼保小連携・接続研修会 地域をつなぐ 幼保小連携・接続研修会

六月二十五日、峡南教育事務所において、幼保小の円滑な接続を図ることを目的とした「幼保小連携・接続研修会」が、やまなし幼児教育センターの主催により開催されました。当日は、峡南地域五町から三十九人が参加し、「幼保小の架け橋プログラム」の推進に向けた理解を深めました。

研修会では実践報告が行われました。富士川町教育委員会の遠藤さんからは、町内の幼保小連携の現状と課題について報告がありました。コロナ禍を契機に途絶えた交流の再構築に向け、各園所・学校・行政による意見交換会を通して相互理解を図り、連携を段階的に進めていく方向性が示されました。



続いて、鯉沢小学校の斉藤教頭先生からは、鯉沢さくらっこ保育園との連携の取組について報告がありました。これまでの関わりや整理や教職員の意識に関する実態調査を踏まえ、相互参観による気づきの共有を重ねながら、連携を段階的に深めていくとする流れが紹介されました。相互参観については、これまで遠慮も見られましたが、その背景を踏まえつつ、互いに理解を深めたいという思いが共有され、取組が進みつつある様子がうかがえました。十月には、生活科の授業を通して園児と児童が共に活動する場を設定し、学びの連続性を具体的に高めていく計画が示されました。

実践報告の後には、各町ごとに情報交換会が実施されました。情報交換を通して、架け橋プログラムの趣旨を踏まえ、報告された内容を参考にしながら、学びや気づきをカリキュラムへ反映させていくことや、教職員の働き方にも配慮しつつ無理のない形で連携を進めていくことの重要性が参加者間で共有されました。



幼保小の架け橋プログラム 一年生の参観授業 大塚小

六月十二日、大塚小学校において、幼保小の円滑な接続を目指す「架け橋プログラム」の一環として、一年生の参観授業が実施されました。当日は、五つの幼稚園・保育園・保育所から先生方が来校し、これまで送り出してきた子どもたちの小学校での学びの様子を参観しました。

教室では、子どもたちが旧担任の先生の来校を心待ちにする様子が見られ、後ろを振り返って手を振るなど、温かな雰囲気の中で授業が進められました。安心感に支えられた環境の中、子どもたちは主体的に学びに向かい、自らの感じたことを自分の言葉でいきいきと表現する姿が印象的でした。

本授業では、幼児期の遊びや体験を基盤とした学びを生かしながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現を意識した指導が行われました。子どもも一人一人の発達や個性に応じたきめ細かな支援や、多様性に配慮した関わりも随所に見られ、幼児期の育ちを小学校での学びへと円滑に接続する実践となっていました。



また、授業後には一年生担任と園所の先生方による情報交換の時間が設けられました。子どもも一人一人の成長や課題について共有し合い、幼児期からの成長の過程を連続的に捉えながら、今後のより良い支援の在り方について活発な意見交換が行われました。学校と園所が連携して子どもを支えていくとする姿勢が大変印象的でした。

このような取組を通して、子どもたちが安心して学びに向かう姿や、幼児期に身に付けた力が小学校での学びにつながっていることが確認されました。今後も、幼保小が連携を深めながら、子どもたち一人一人の学びを継続的に支えていくことが求められます。

「かけはし」をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。峡南教育事務所では、社会教育と地域教育の充実と発展に貢献することを目的に、年6回、奇数月に、地域教育情報誌「かけはし」を発行しております。

峡南地域での交流行事、社会教育・生涯学習に関する取組や行事等をぜひ取材させてください。お気軽にご連絡ください。

企画・編集・発行

峡南教育事務所

[所在地] 南巨摩郡富士川町鯉沢771-2

[電話] 0556-22-8154

[FAX] 0556-22-8144 (担当: 篠原)

[サイト] www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html